

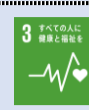




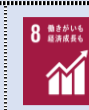











SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルナカ工業有限会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
																																			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・スローガン「マルナカよく安全に」をHPや事務所に掲示し社内に浸透させている。 ・定期的な社内会議や現場朝礼等の場で、経営者から従業員に対し会社のあるべき姿について口頭で伝えている。												8	9																17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・入社時にコンプライアンスマニュアルに沿った研修を行い、法令遵守の考え方を従業員に周知している。 【予定】2023年10月までに、全体会議等の場で定期的にマニュアルの読み合わせを行う体制を定着することで、更なる浸透を図る。																												16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・請求書等は各現場にて作成し、最終的に社長がチェックを行うことで不正行為を防ぐ体制を整えている。															10													16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事務所に組織図を掲示し、組織体制を明確にしている。 ・副社長を担当者として、自社の事業活動が地域や環境へ及ぼす影響を把握し、対策を行っている。																												16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、自社のノウハウや技術、知的財産保護の考え方について入社時や現場等で伝えている。													8.2	8.3	9															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員の個人情報は施錠できるキャビネットにて保管している。 ・個人情報の取扱いについて、コンプライアンスマニュアルに記載し入社時に研修を行っている。																											16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・業界団体の会合に参加し、業界動向等について情報収集を行っている。 ・工事の際は、近隣住民への説明を行い理解を得ることで地域との良好な関係を構築している。																											16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に関心をもち、CO2排出量の削減をはじめとした地球環境や人権侵害等への配慮について問題意識を共有する等、対話に努めている。					5									8		10		12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】2023年10月までにBCPを策定し、年に1度、全従業員を対象とした訓練を実施する。																9		11			13.1						16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																	8	9												17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2									8				12	13	14	15	16	17						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に各種ハラスメントの禁止について記載している。																												16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全大会や安全講習・訓練(月1回)を実施している。																	3													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員は全て正社員であり、就業規則に同一労働同一賃金の原則に沿った公正な給与体系を明記し実行している。																														
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業時間内での労働を原則として残業は行わず、余暇時間を充実させるよう推進している。																		3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得や講習受講にかかる費用を全額会社負担とすることで、従業員に積極的な能力開発を推奨している。																														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・現場朝礼時に、交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・健康診断受診の経費補助を行い、検査結果に応じて再受診の推奨をするなど、従業員の健康維持に取り組んでいる。																		3											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年後も再雇用によって仕事を続けることができ、年齢に関わらず活躍できる体制を整えている。																													16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●																				3												
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICT重機を導入し、業務効率化に取り組んでいる。																														
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルナカ工業有限会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・汚水による河川汚濁防止対策を行うとともに、廃材は分別し適切に処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し、削減目標を設定する。 ・事務所では節電を心がけることで、エネルギー使用量の削減に努めている。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】2023年10月までに簡易計算シート等を用いてCO ₂ 排出量を把握し、削減目標を設定する。 ・排ガス対策等の環境対策型重機を導入することで、温室効果ガス排出量の削減に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事に於いて汚濁防止シート使用を徹底することで、アユ等の生息地保全に取り組んでいる。 ・太陽光設置の際は、県・町との協定書を締結し、周辺環境に悪影響を及ぼさない様な施工を実施している。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所では裏紙の利用を徹底している。 ・使用する資材や製品は、再生材のものを推奨している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川工事の際は、汚濁防止対策を徹底している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・使用する資材や製品は、再生材のものと環境に配慮したものを推奨している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所敷地内に樹木を植える等、植栽に取り組んでいる。 ・清掃ボランティアに参加することで、地域の緑化・管理に貢献している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・発電出力1290Kwと500Kwの太陽光発電を所有しエネルギーを供給することで、再生可能エネルギーの普及に貢献している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・営業車両にHV車を導入している。 ・現場へ車で移動する際は、複数人で乗り合わせるよう徹底している。											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: マルナカ工業株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・施工後、点検や安全確認を行うことで、工事の品質を確保する仕組みを整えている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所はユニバーサルデザインを採用し、手すりの設置や段差の少ない構造にしている。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・施工に使用する資材は熊本県産材を原則とし、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所の壁や天井、家具に熊本県産材を使用し木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・清掃ボランティアに参加し、地域の社会貢献活動に取り組んでいる。 ・私募債発行を通じて、教育機関へ寄附を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		【予定】ハザードマップを確認し、2023年10月までに避難行動計画を策定する。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	【予定】2023年10月までに、自社が管理する井戸を防災井戸として登録する。 ・自社を避難所として開放する体制がある。 ・従業員が地域消防団に加入しており、活動に際して勤務時間の調整を行う等、会社としても支援を行っている。		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGs委員会を設置し、社業の特性を生かしたSDGsの取り組みや、社会課題解決策について検討・協議を行っている。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。